

すいか炭疽病対策

1 すいか炭疽病について

すいか炭疽病は、コレトリカムというカビの一種によって引き起こされる病気である。発病適温は22～28℃で、湿度が高いと24時間以内に胞子が発芽し、48時間以内に組織に侵入し、1週間以内に発病する。特に、降雨があると病斑状の胞子が飛散し、他の茎葉、果実に伝染し、蔓延する。露地栽培では、トンネルを除去したころから発病しはじめ、気温が低く、雨の多い年に多発する。また、窒素過多でも発生が多くなる。

2 防除対策

育苗期防除対策

- ・苗床やハウスでは多発することは少ない。
- ・苗床では高温多湿を避ける。
- ・苗床では発病前から予防散布を行い、健全な苗を確保する。
- ・発病を認めたら治療効果のある薬剤を7日おきに2～3回散布する。

圃場防除対策

- ・連作は避ける。排水の悪い圃場は、排水対策を実施する。
- ・降雨のはねかえりで感染するので、早めに敷きわらやポリマルチを行う。
- ・前年、炭疽病が発生した圃場は原則、作付けを避けるが、やむを得ず作付けする場合は、土壌消毒の実施や予防散布に努める。
- ・トンネル除去後は、感染の好適条件にもなることから、1週間おきを目安に予防防除を行う。
- ・ベンゾイミダゾール系剤（トップジン、ベンレート等）は耐性菌が発生しているので使用しない。
- ・不要な側枝は早めに除去し、採光と通風しをよくする。摘果玉は圃場内に放置せず、圃場外に持ち出すか埋設する。
- ・降雨後は、薬剤散布量を十分取り、果実表面にも十分薬剤が付着するように散布する。
- ・炭疽病の発生を確認したら、治療効果のある薬剤を3～5日おきに少なくとも2～3回散布する。新しい病斑の形成がなくなったら、予防効果のある薬剤を7日おきに散布する。特に、果実付近の防除を徹底する。
- ・収穫時に降雨があった場合、果実表面が濡れたり土壌が付着したりしているものは、コンテナに積み込む前に固く絞ったタオルで十分拭き取る。
- ・収穫終了後、発病株の罹病部位（葉や果実）は圃場外に持ち出し、埋設する。

【参考】すいか炭疽病防除薬剤一覧

FRAC コード	農薬の名称	使用時期 (収穫何日 前まで)	その他の適用病害虫									効果	
			つる 枯 病	疫 病	褐 斑 細 菌 病	べ と 病	菌 核 病	う ど ん こ 病	褐 色 腐 敗 病	ハ ダ ニ 類	果 実 汚 斑 細 菌 病	予 防	治 療
11	アミスター20フロアブル	前日まで	○									○	○
	ストロビーフロアブル	前日まで	○						○			○	○
3	スコア顆粒水和剤	前日まで	○						○			○	○
M1	ドキリンフロアブル	前日まで	○								○	○	
M3	アントラコール顆粒水和剤	前日まで	○									○	
	ジマンダイセン水和剤	7日前まで	○	○	○	○						○	
M4	オーソサイド水和剤 80	14日前まで	○			○						○	
M5	ダコニール 1000	3日前まで	○									○	
M7	ベルコート水和剤	前日まで	○					○	○			○	
4, M5	フォリオゴールド	7日前まで	○							○		○	○
1, 10	ゲッター水和剤	前日まで										○	○
	ニマイバー水和剤	前日まで	○					○	○			○	○
7, 11	シグナム WDG	前日まで	○					○	○	○		○	○
11, M5	アミスターオプティフロアブル	3日前まで	○					○	○	○		○	○
11, M7	ファンベル顆粒水和剤	前日まで	○					○	○			○	○
21, M5	ドーシャスフロアブル	3日前まで	○							○		○	○
3, M3	テーク水和剤	7日前まで	○						○			○	○
40, M5	プロポーズ顆粒水和剤	3日前まで								○		○	○
M1, M4	オキシラン水和剤	14日前まで	○									○	

*使用濃度、使用量、使用回数等は確認すること。

(5) すいか

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名	
うどんこ病	シグナムWDG	ビラロストロビン・ボスカリド水和剤	11,7		1500~2000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
	テーク水和剤	シメコゾール・マンゼブ水和剤	"UN(*),3		600~800倍	100~300g/10a	収穫7日前まで	散布	5回以内	すいか	
	トリアミン水和剤	トリアミン水和剤	3		3000~5000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	すいか	
	バレード2070アブル	ビラジアルミド水和剤	7		2000~4000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	うり類(成熟)	
	パンチョTF顆粒水和剤	シメコゾール・トリアミン水和剤	3,U6		2000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	すいか	
	モルスタン水和剤	キキサリン系水和剤	"UN(*)		2000~4000倍	100~300g/10a	収穫3日前まで	散布	5回以内	すいか	
疫病	Zボルドー	銅水和剤	M1		500~800倍	100~300g/10a	-	散布	-	すいか	
褐色腐敗病	フリオコート	メタキシム・TPN水和剤	4,M5		800~1000倍	100~400g/10a	収穫7日前まで	散布	3回以内	すいか	
	ホライズンドライアブル	シメコゾール・フアモキサド水和剤	11,27		2500倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
菌核病	バレード2070アブル	ビラジアルミド水和剤	7		2000~4000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	うり類(成熟)	
炭疽病	アントラコール顆粒水和剤	ブロビネア水和剤	M3		400~600倍	150~200g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	すいか	
	ホシラン水和剤	キャブタン有機銅水和剤	M1,M4		500~600倍	100~300g/10a	収穫14日前まで	散布	5回以内	すいか	
	シグナムWDG	ビラロストロビン・ボスカリド水和剤	11,7		1500~2000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
	ジマンダイトン水和剤	マンゼブ水和剤	"UN(*)		400~600倍	100~300g/10a	収穫7日前まで	散布	7回以内	すいか	
	ストロビーフリアブル	クレスキシメチル水和剤	11		2000~3000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
	ダコニール1000	TPN水和剤	M5		700倍	100~300g/10a	収穫3日前まで	散布	5回以内	すいか	
	テーク水和剤	シメコゾール・マンゼブ水和剤	"UN(*),3		600~800倍	100~300g/10a	収穫7日前まで	散布	5回以内	すいか	
	ニマイール水和剤	ジエトフェンカルベニル水和剤	1,10		1000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	すいか	
	ベルコート水和剤	イミダジンアルベニル硫酸塩水和剤	M7		1000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	すいか	
	つる枯病	アフェットアブル	ベンチオフラト水和剤	7		2000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか
アントラコール顆粒水和剤		ブロビネア水和剤	M3		400~600倍	150~200g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	すいか	
シグナムWDG		ビラロストロビン・ボスカリド水和剤	11,7		1500~2000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
ジマンダイトン水和剤		マンゼブ水和剤	"UN(*)		400~600倍	100~300g/10a	収穫7日前まで	散布	7回以内	すいか	
ストロビーフリアブル		クレスキシメチル水和剤	11		2000~3000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
ダコニール1000		TPN水和剤	M5		700~1000倍	100~300g/10a	収穫3日前まで	散布	5回以内	すいか	
バレード2070アブル		ビラジアルミド水和剤	7		2000~4000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	うり類(成熟)	
ベルコート水和剤		イミダジンアルベニル硫酸塩水和剤	M7		1000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	すいか	
ロブテール水和剤		イプロン水和剤	2		1000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	4回以内	すいか	
苗木枯病(ツブア菌)		バシタック水和剤75	メプロル水和剤	7		750~1500倍	3g/m ²	は種時~子葉展開時	土壌灌注	1回	すいか
	-						は種前	種子粉衣	1回	すいか	
べと病	ジマンダイトン水和剤	マンゼブ水和剤	"UN(*)		400~600倍	100~300g/10a	収穫7日前まで	散布	7回以内	すいか	
アザミカ類	アグリメック	アバメクチン乳剤	6	劇	500~1000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
アザラム類	アグロスリン乳剤	シベルメトリン乳剤	3A	劇	1000~2000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	5回以内	すいか	
	アドマイア水和剤	イミダクアリン水和剤	4A	劇	2000倍	100~300g/10a	収穫3日前まで(ただし、露地栽培については着果後)	散布	3回以内	すいか	
	ウララDF	フロンカミド水和剤	29		2000~4000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	すいか	
	ダントツ水溶剤	クワアジン水溶剤	4A		2000~4000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
	ベストガード粒剤	ニテンピラム粒剤	4A			1~2g/株		定植時	植穴処理	1回	すいか
						1g/株		育苗期	株元処理	1回	すいか
	マブリック水和剤20	フルバリン水和剤	3A	劇	4000倍	100~300g/10a	収穫3日前まで	散布	2回以内	すいか	
	モスピラン粒剤	アセチアリン粒剤	4A		1g/株		定植時	植穴土壌混和	1回	すいか	
モンテアブル	スピロテトラト水和剤	23			2000倍	100~300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか	
					500倍	25~50mL/株	育苗期後半~定植当日	灌注	1回	すいか	

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名
クリメイガ	フェニックス顆粒水和剤	フルベソジアミド水和剤	28		2000～4000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	すいか
クリハムシ	ダントツ水溶剤	クロチアジン水溶剤	4A		2000～4000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか
コジラミ類	モベントフロアブル	スピロトラマト水和剤	23		2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか
					500倍	25～50mL/株	育苗期後半～定植当日	灌注	1回	すいか
クサカサ	ダイアジン粒剤3	ダイアジン粒剤	1B		5～8kg/10a		は種時又は植付時	土壌混和	2回以内	すいか
ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	フルベソジアミド水和剤	28		2000～4000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	すいか
ハダニ類	アケリメック	アバメクチン乳剤	6	劇	500～1000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか
	カネマイトフロアブル	アセキシル水和剤	20B		1000～1500倍	150～300g/10a	収穫前日まで	散布	1回	すいか
	パロックフロアブル	イトキサゾール水和剤	10B		2000倍	100～350g/10a	収穫前日まで	散布	2回以内	すいか
	モベントフロアブル	スピロトラマト水和剤	23		2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか
					500倍	50mL/株	育苗期後半～定植当日	灌注	1回	すいか
ミナミキアザミヤ	ダントツ水溶剤	クロチアジン水溶剤	4A		2000倍	100～300g/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	すいか